

題 夕陽

住みよ来

夜日有情

遍照三界

一瞬無限

光赫

逐尋夕陽

臻泉月

方内打先生之永眠

代輓歌

方内打先生之永眠

序言

余の友人住谷天来君は其性未の質より謂ふも亦其學門の性質より考ふるも純粹なる漢學者である。然るに此人が孔子を師として仰がしし十ガレイエスに弟子として事ふるのである。余が持て君を敬する所以は茲にある。又君の孔子論の特に敬讀すべき所も亦茲に在ると思ふ。

畧の人である

方便の人である。取王善の人である。純正の良心である。是れ天来君が孔子に就て全非事に教ふる所である。而して余輩は君の此觀察に首肯せざるを得ないのである。天来君が斯く唱ふるは君が外國宣教師の教を食ふかゝる式に又基督教會の被僱人であるからではない。君は独立の人である。而して君の独立の場よりして、君が最も深く親しめる孔子に就て斯く言はるるのである。

きを知るのである

世に特すべき人は一人ある。唯一人ある。其他はすべて親しむべき者、愛すべき者、同情すべき者である。而して特すべき其一人を特して、すべての聖人、すべての偉人、すべての英雄は正當に解し得るのである。而して全非事の此言は住谷君と余輩との間の言はである。ケイテも爾う言ふた、ガロウ、イルも爾う言ふた、ロックも爾う言ふた、トルストイも爾う言ふた、人類を最も深く解した人は比自ふ此点に於ては一致して居る。人類の首は孔子ではある。孟子、孔子は、釋迦ではある、ソクラテスではある、キリストと稱へらしナガレイエスである。而して彼の十字加架の下に立つこのキ

孔子も釋迦もソクラテスも正當に解

するものが出来るのである。住谷君の孔子論は此立場より孔子邦人の或者が君の此著に由りて大に啓發せしむる所もある。信する。 千九百十一年五月十五日 東京市外柏木に於て 内村鑑三

表

中村の月 中村の月 都門近吾生年 留月の 風流の處 遠信の板 興三十里 借君湖家 化中秋 表